

【分配金のお知らせ】

2016年7月26日  
野村アセットマネジメント株式会社

## 「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の 2016年7月25日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の2016年7月25日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、各対象通貨および米国ハイ・イールド債市場の動向と、それに伴う基準価額の下落傾向等を勘案し、全てのコース(「円コース」、「豪ドルコース」、「ニュージーランドドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「南アフリカランドコース」および「メキシコペソコース」)の分配金を引き下げることといたしました。

各コースの分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

### 【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	豪ドル コース (毎月分配型)	ニュージーランド ドルコース (毎月分配型)	ブラジル リアルコース (毎月分配型)	南アフリカ ランドコース (毎月分配型)	メキシコ ペソコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	40円 (50円)	70円 (90円)	120円 (160円)	60円 (80円)	50円 (70円)	70円 (100円)
決算日の基準価額	9,171円	10,153円	9,018円	5,433円	4,890円	6,236円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	15,493円 (14,985円)	18,800円 (17,605円)	20,781円 (19,814円)	16,929円 (15,283円)	13,909円 (12,408円)	15,760円 (14,481円)
分配金額設定来累計	5,450円	7,360円	9,440円	9,570円	8,500円	9,270円

- ・ 設定日:2009年9月9日、前回決算:2016年6月27日
- ・ 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年2月および8月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

- \* 「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## 【各コースの分配金引き下げの背景】

## 円コース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「円コース(毎月分配型)」の分配金を50円から40円に引き下げました。

「円コース(毎月分配型)」の基準価額は、前回分配金引き下げ時(2015年6月25日)には9,631円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年7月25日現在9,171円となりました。同期間の騰落率は-4.8%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は2.2%となりました。

一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向(詳細は8・9ページ参照)や、基準価額の推移などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

## &lt;「円コース（毎月分配型）」の基準価額の推移&gt;



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定日より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【各コースの分配金引き下げの背景】

豪ドルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「豪ドルコース(毎月分配型)」の分配金を90円から70円に引き下げました。

「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には13,477円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年7月25日現在10,153円となりました。同期間の騰落率は-24.7%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-12.5%となりました。

豪ドル(対円)の為替レートは、2014年末以降、資源価格の下落や中国の景気後退懸念などを背景に下落(円高)しました。

豪ドルの短期金利は、2015年6月以降概ね横ばいで推移し、2016年6月末現在、1.8%となりました。

円高豪ドル安などを要因に基準価額が下落したことや、一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向(詳細は8・9ページ参照)などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

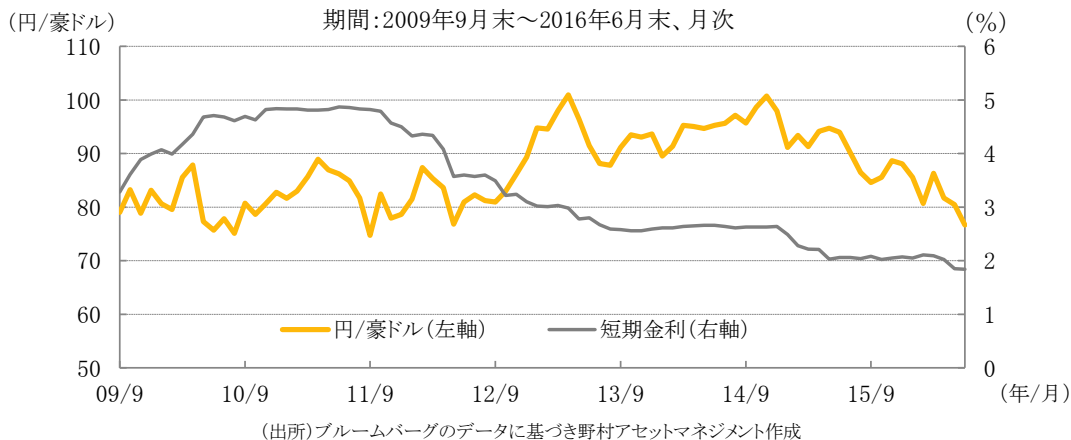
<「豪ドルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移>



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<豪ドルの為替レート（対円）と短期金利の推移>



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【各コースの分配金引き下げの背景】

## ニュージーランドドルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「ニュージーランドドルコース(毎月分配型)」の分配金を160円から120円に引き下げました。

「ニュージーランドドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には13,763円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年7月25日現在9,018円となりました。同期間の騰落率は-34.5%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-13.1%となりました。

ニュージーランドドル(対円)の為替レートは、2014年末以降、乳製品価格の下落や中国の景気後退懸念などを背景に下落(円高)しました。

ニュージーランドドルの短期金利は、2015年5月以降下落基調で推移し、2016年6月末現在、2.4%となりました。

円高ニュージーランドドル安などを要因に基準価額が下落したことや、一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向(詳細は8・9ページ参照)などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

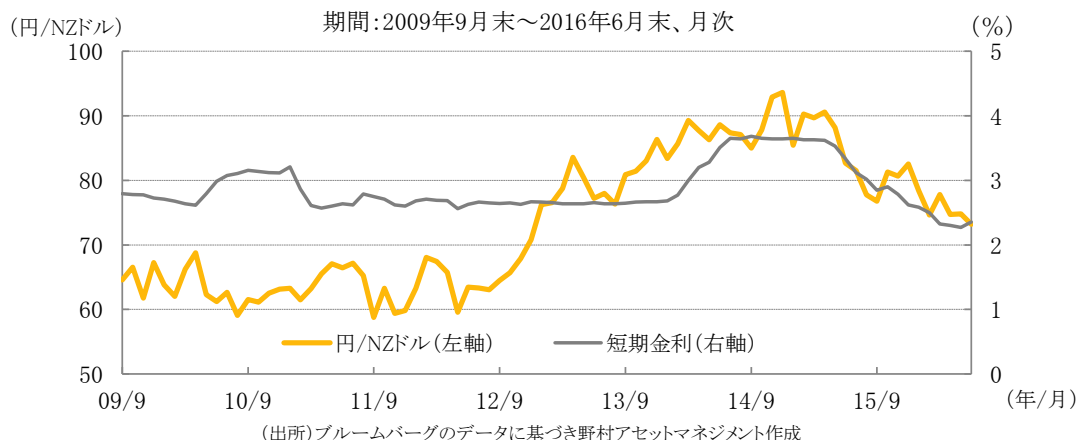
## &lt;「ニュージーランドドルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移&gt;



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## &lt;ニュージーランドドルの為替レート（対円）と短期金利の推移&gt;



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

ブラジルリアルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の分配金を80円から60円に引き下げました。

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には8,230円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年7月25日現在5,433円となりました。同期間の騰落率は-34.0%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-10.5%となりました。

ブラジルリアル(対円)の為替レートは、2014年末以降、資源価格の下落や政治的混乱、大手格付け会社による格下げなどを背景に下落(円高)しました。

ブラジルリアルの短期金利は、2014年末以降上昇基調で推移し、2016年6月末現在、14.0%となりました。

円高ブラジルリアル安などを要因に基準価額が下落したことや、一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向(詳細は8・9ページ参照)、基準価額水準などを総合的に勘案し、前回(2015年11月25日)の分配金引き下げ(110円⇒80円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

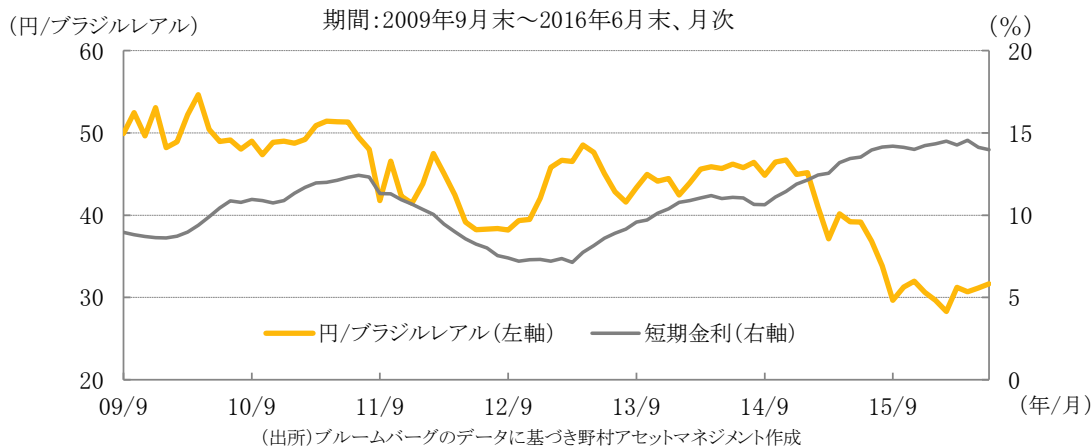
＜「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ブラジルリアルの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【各コースの分配金引き下げの背景】

## 南アフリカランドコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の分配金を70円から50円に引き下げました。

「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には7,703円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年7月25日現在4,890円となりました。同期間の騰落率は-36.5%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-17.2%となりました。

南アフリカランド(対円)の為替レートは、2014年末以降、米国の利上げ懸念や資源価格の下落などを背景に下落(円高)しました。

南アフリカランドの短期金利は、2014年末以降上昇基調で推移し、2016年6月末現在、7.1%となりました。

円高南アフリカランド安などを要因に基準価額が下落したことや、一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向(詳細は8・9ページ参照)、基準価額水準などを総合的に勘案し、前回(2016年2月25日)の分配金引き下げ(90円⇒70円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

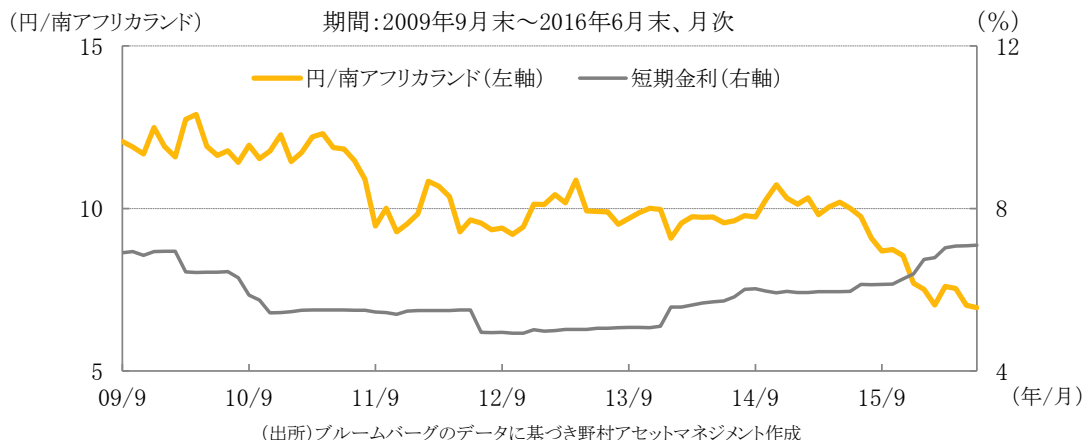
## ＜「南アフリカランドコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ＜南アフリカランドの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

メキシコペソコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「メキシコペソコース(毎月分配型)」の分配金を100円から70円に引き下げました。

「メキシコペソコース(毎月分配型)」の基準価額は、前回分配金引き下げ時(2015年12月25日)には7,656円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年7月25日現在6,236円となりました。同期間の騰落率は-18.5%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-9.8%となりました。

メキシコペソ(対円)の為替レートは、2015年末以降、他の新興国通貨よりも相対的に大きく下落(円高)しました。

メキシコペソの短期金利は、2016年初から上昇基調で推移し、2016年6月末現在、4.1%となりました。

円高メキシコペソ安などを要因に基準価額が下落したことや、一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向(詳細は8・9ページ参照)、基準価額水準などを総合的に勘案し、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

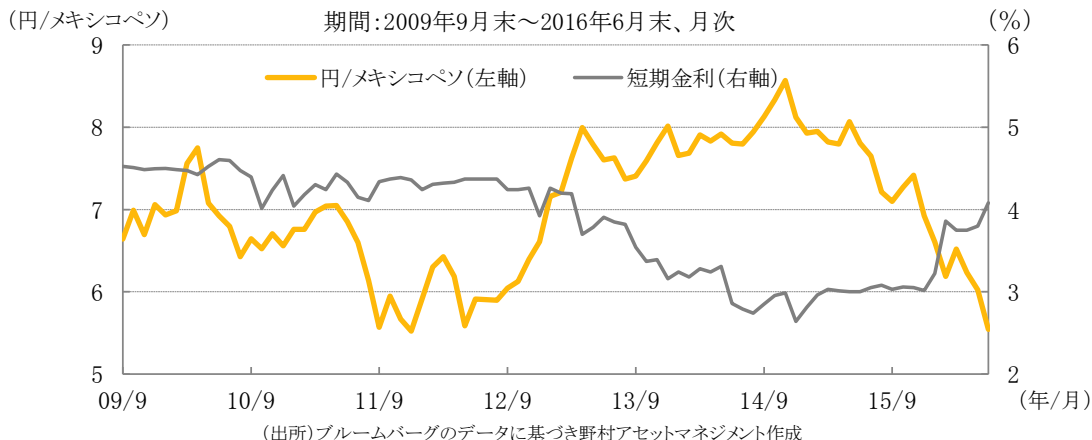
＜「メキシコペソコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜メキシコペソの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【米国ハイ・イールド債の投資環境と今後の見通し】

## 米国ハイ・イールド債市場について

## ●ここまでの投資環境

ファンドが実質的に投資対象とする米国ハイ・イールド債(BB～B格)<sup>\*</sup>のパフォーマンスは、2015年半ばから2016年初にかけて下落する局面もありましたが、概ね堅調に推移しました。

2015年6月～2016年2月中旬まで、下落が続く

2015年6月以降は、原油価格の下落、ギリシャのデフォルト、中国の景気減速懸念などを背景に世界経済の先行きに対する警戒感が高まったことから米国ハイ・イールド債は下落基調となりました。2015年12月に米金融当局が利上げを決定したことや原油価格がさらに下落し、金融市場の混乱が継続したことから、2016年に入っても、当初は下落しました。

2016年2月中旬以降、足元で反発、英国国民投票後も堅調に推移

2月中旬以降、原油価格が回復したことや米国の利上げが緩やかなペースになるとの観測が広がったことなどから、世界経済の先行きに対する不透明感が後退し、足元では反発基調となっています。

また、6月下旬の英国の国民投票でEU離脱派が勝利したことを背景に一時下落する場面もありましたが、直接的な影響が小さいことなどから米国ハイ・イールド債はその後も堅調に推移しました。

## ●今後の見通し

米国ハイ・イールド債市場は、堅調な米国経済や、相対的に低水準であるエネルギー価格に支えられ、また利回りも引き続き魅力的な水準にあることから、今後も良好なリターンを提供すると考えています。

原油価格の回復と、米国経済への内需面での期待

原油価格は昨年後半から下落が続いていましたが反発し始めています。米国の原油・天然ガスのリグ(掘削装置)の稼働数は直近ピークから大幅減となっており、減産による需給調整の動きが進みつつあることから、今後も原油価格は堅調に推移すると予想されます。

また、相対的に低水準であるエネルギー価格や雇用環境の改善から消費者の可処分所得は上昇しており、米国経済は内需を中心に底堅く推移しています。

以上から米国ハイ・イールド債券市場を取り巻く環境は以前よりも、問題点が解消・改善されていると、見るができます。

米国ハイ・イールド債の魅力的な利回りの高さ

2016年2月中旬以降、米国ハイ・イールド債券市場は反発してきましたが、足元の利回りや対米国国債のスプレッド(利回り格差)水準は相対的に高く、過去と比較しても依然として割安感があります。

米国以外の先進国である日本や欧州ではマイナス金利政策が導入され、当面は先進国で低金利環境の継続が予想される中、米国ハイ・イールド債券の利回りは6%を超える水準にあります(2016年6月末現在)。市場でも相対的に高い利回りに注目した資金流入が戻ってきており、需給面から米国ハイ・イールド債市場を押し上げる動きが見られます。こうした背景から、今年度の米国ハイ・イールド債市場は底堅く推移するものと考えています。

<sup>\*</sup> BofA・メリリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテッド・コンストレインド・インデックス

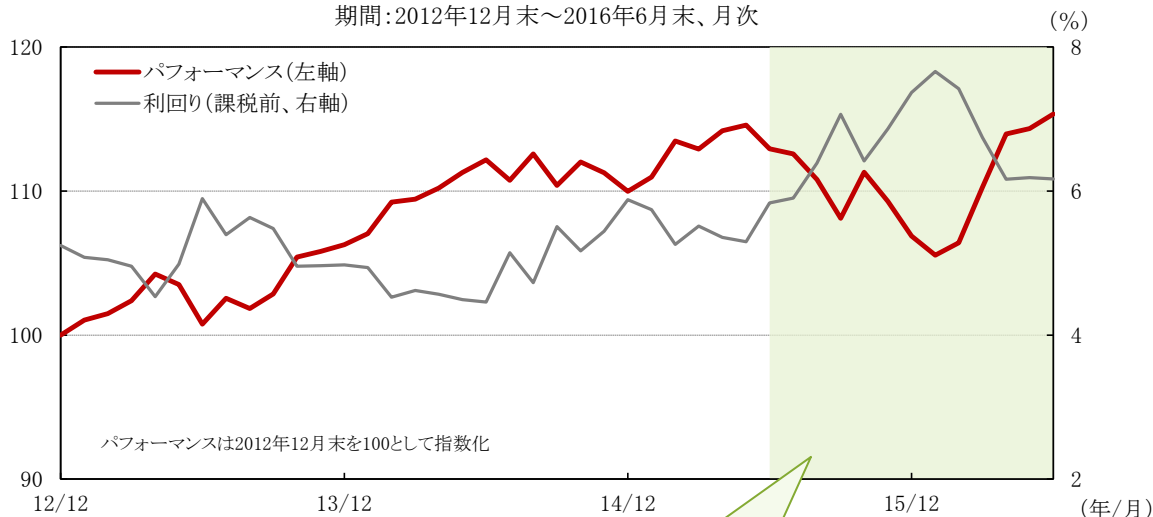


【米国ハイ・イールド債の投資環境と今後の見通し】

米国ハイ・イールド債市場について

＜米国ハイ・イールド債(BB～B格)のパフォーマンスと利回りの推移＞

期間:2012年12月末～2016年6月末、月次



期間:2015年6月30日～2016年6月30日、日次



米国ハイ・イールド債(BB～B格)(米ドル建て):BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテッド・コンストレインド・インデックス  
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料で使用した金利・市場指数について

【各通貨の短期金利】

●豪ドル:銀行手形1ヵ月、ニュージーランドドル:銀行手形1ヵ月、ブラジルレアル:国債1ヵ月、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、メキシコペソ:T-Bill1ヵ月

【市場指数】

●BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイテッド・コンストレインド・インデックスは、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

《ファンドの特色》

野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型) 毎月分配型/年2回決算型

●「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる6つのコース(円コース、豪ドルコース、ニュージーランドドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、メキシコペソコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネーパールファンド(年2回決算型)の13本のファンドから構成されています。

●各コース(マネーパールファンドを除く6つのコースを総称して「各コース」といいます。)

◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆円建ての外国投資信託「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」および国内投資信託「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を投資対象とします。

※「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンドA」および「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンドB」を総称して「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」といいます。

・「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」には、為替取引手法の異なる6つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。
ニュージーランドドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ニュージーランドドルを買う為替取引を行ないます。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行ないます。
南アフリカランドコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行ないます。
メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行ないます。

◆通常の状況においては、「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

◆運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

●マネーパールファンド

◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。

◆ファンドは「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

●「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

◆年2回決算型

原則、毎年2月および8月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◀投資リスク▶

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成31年8月26日まで(平成21年9月9日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、2月および8月の25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
ご購入申込日の翌営業日の基準価額  
1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご購入価額
- ご購入単位
- ご換金価額 【各コース】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネープールファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所  
・ブラジル商品先物取引所(ブラジルレアルコースのみ)  
・サンパウロの銀行(ブラジルレアルコースのみ)
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年7月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年1.6524%(税抜年1.53%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成28年5月20日現在年0.001188%(税抜年0.0011%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に併じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。